

新庄市議会 行政視察報告書

会派又は議員 市民公明クラブ

報告者 山科 正仁

【全体的事項】

1. 視察日程 平成30年 1月19日(金) ～ 1月20日(土)
2. 調査事項 (視察先)
 - (1) 衆議院 第1議員会館事務室705号 加藤 鮎子事務所
平成18年度改正の地方消費税と森林環境税の方向性
 - (2) 新庄ふるさと応援隊新年交流会
ふるさと応援隊の方々との交流から観えてくる新庄市あり方
視察参加議員
・小野 周一 ・佐藤 卓也 ・高橋 富美子 ・山科 正仁

【具体的事項】

調査事項 (1)

- ・平成18年度の税制改正大綱の盛り込まれる消費税配分(地方消費税)改革案の概要と方向性
- ・予想される都市部と地方の税収格差の解消規模
- ・地方の社会保障に与える財政需要メリット
- ・平成31年度から施行予定とされる森林整備税の概要と方向性
- ・山形県および新庄市を対象とした配分(地方譲与税)のシュミレーション
- ・森林バンクとの連携強化策
- ・緑環境税との整合性の取り方

■視察日時 平成30年 1月 19日(金)
午前・午後 13:30 ～ 15:00

■所 感

・総務省自治局と林野庁の資料に基づいての各担当官僚からの説明であったが、まずは、地方消費税では、現在の清算基準を見直し、いままでの各都道府県の納税におけるズレを「消費に相当する額」に基づき清算を行うことで、当市の地方消費税も実質増額となり大きく財政に余裕を持たせることが出来るようになることで、非常に推し進めていただきたい施策であると認識した。
次に森林環境税および森林環境譲与税については、緑環境税との整合性を図りながらも喫緊の課題である「全国の森林整備の必要性」に取り組むための財源措置

政策であるとのことであった。

こちらも私有林人工林面積と人口が大きな譲与基準算定となっており、当市への譲与割合が大きく、非常に有効な当該分野への財源となるであろうと感じた。両者とも当市へのプラス要因であり、是非とも早急に施行していただきたいとの要望もでき、有意義な視察となった。



議員会館 加藤事務所にて

視察事項（２）

- ・ 関東圏在住の応援隊会員の皆様との交流による情報収集
- ・ 今後の新庄市の方向性を違った観点から指摘を受け、市政の反省点を発見する
- ・ 新庄ふるさと応援隊の応募者増員方法の情報収集

■視察日時 平成30年 1月20日(土)
午前・午後 12:00 ~ 15:00

■所 感

- ・ 毎年の常連メンバーの参加ではあったが、非常に郷土愛のある意見や各種アドバイスを頂きながらの交流会となった。
特に「新庄まつり」に対する意見が多く、関心の高さがうかがえた。次に冬期間

の観光面で「雪を生かした観光PRの不足」を指摘された。永年の課題ではあるが、当市だけではなく、定住自立圏構想を生かした広域の取り組みが必要だと強く認識すると同時に、応援隊の方々の叱咤激励を真摯に受け止めて、今後の市政に生かしていかなければならないと感じた有意義な交流会であった。



戸澤氏のあいさつ